

利用アプリの傾向
携帯電話やスマホなどで、小学生が主に利用しているコンテンツはゲームが最も多く79.5%で、続いてYouTubeが74.3%、LINEが40.2%でした。中学生はYouTubeが最も

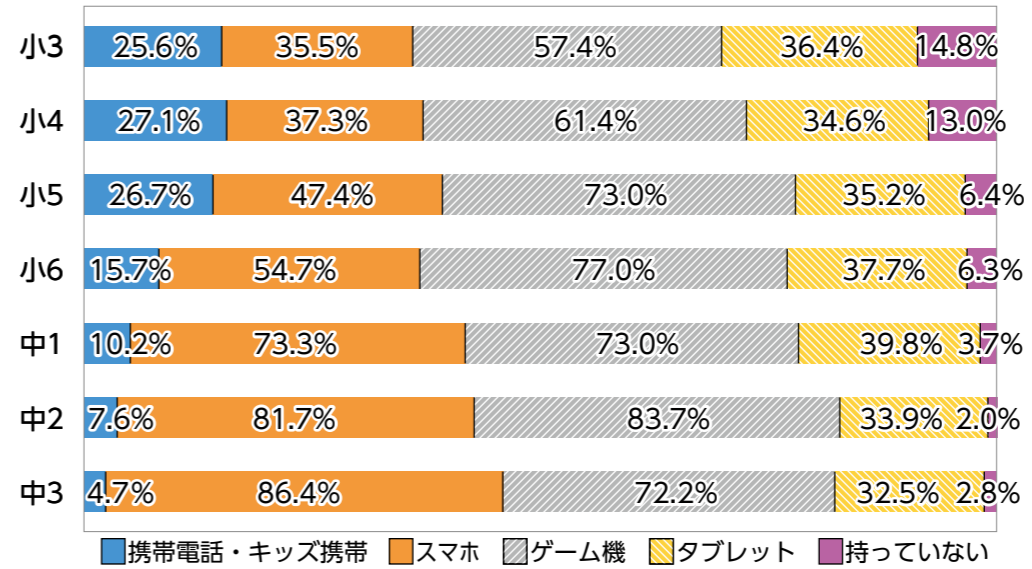
多く87.3%で、続いてLINEが82.6%、ゲームが79.1%でした。その他にツイッターやインスタグラム、TIKTok等を利用しています。昨年度の結果と比べると、小学生はYouTubeやゲームの利用の割合は同程度ですが、LINEの利用は6.8%増加しているのに対して、中学生はインスタグラムの利用が9.2%増加し、それ以外は同程度という結果となっています。

★子どものネット利用状況を把握できていますか。★
今回の調査結果で「動画投稿をしたことがある」と回答した小学生は9.7%、中学生は35.0%で、「会ったことのない人とネット上でやり取りをしたことがある」と回答した小学生は19.4%、中学生は50.4%でした。昨年の調査と同様に、数多くの児童生徒がネットを利用し、いろいろな人と広く交流していることが分かりました。

また、ネット上でトラブルになったことがある児童生徒の割合は、小学生で10.4%、中学生で18.9%でした。全体では13.9%の児童生徒がネット上でのトラブルにあっている実態が浮き彫りになっています。子どもがインターネットやゲームを安全に利用できるようにするためには、家庭でルールを決めたり、フィルタリングをはじめとしたペア

携帯電話・スマートフォンなどの所持率

(対象児童・生徒数を100とした時の所持率)



調査結果から、全体の傾向としては、学年が上がるごとにスマホの所持率が高くなっており、スマホを利用している小学6年生は54.7% (昨年より5.9%増加)、中学3年生は86.4% (昨年より5.8%増加) で、増加傾向にあります。ゲーム機については、小学5年生で所持率が70%以上になり、以降は中学3年生まで同程度となっています。

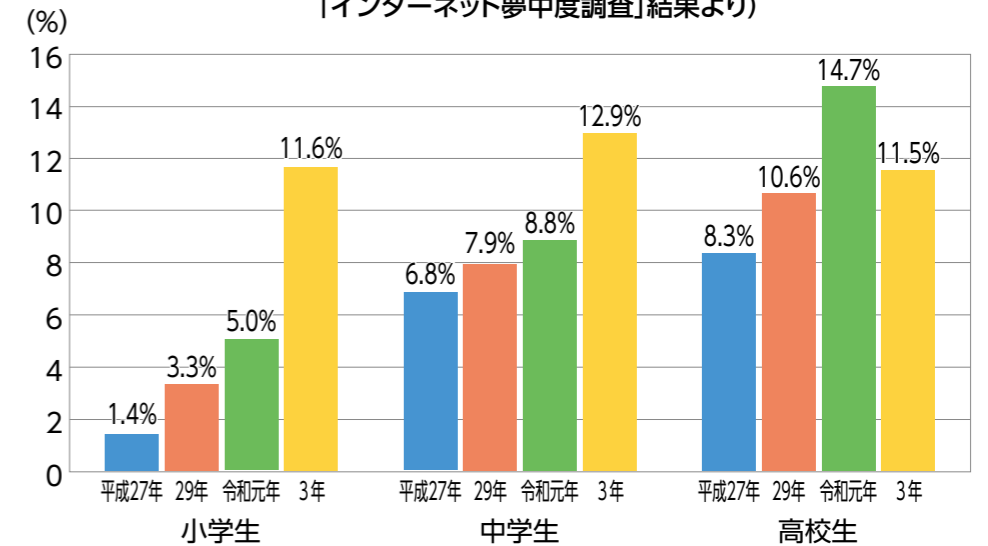
兵庫県青少年本部が、青少年のインターネット利用やその夢中度(依存度)の実態を把握するために行った、「令和3年度『ケータイ・スマホアンケート』及び『インターネット夢中度調査』」の結果によると、コロナ禍による休校や、部活動の休止・縮小、在宅時間の増加などにより、小

子どもたちの携帯電話やスマートフォンの利用状況

▼問合せ 地域学校教育課 ☎079-435-0545
播磨町教育委員会では、毎年小学3年生から中学3年生までを対象に、携帯電話・スマートフォン(以下スマホという。)などの利用状況について、アンケート調査を実施しています。

インターネット依存傾向にある子どもの割合

(令和3年度「ケータイ・スマホアンケート」及び「インターネット夢中度調査」結果より)



中学生のインターネット依存傾向にある子どもの割合が増していることがわかりました。

情報端末が低年齢層にも普及し、子ども同士のコミュニケーションにおいても、これまで以上にネットが活用されて便利になる一方で、ネット依存やネットいじめ、ゲーム利用による高額課金、個人情報の流出など

どのトラブルも起こっており、ネットの使い過ぎが健康に与える影響についても懸念されています。

そこで、今回の調査結果をご覧いただき、子どものネット利用についてしっかりと把握するとともに、ネットと上手に付き合っていくために、ご家族で話し合っていたいただけたらと思います。

- ① フィルタリングを必ず利用する。
 - ② 家庭内でのルール作りと見守りをする。
 - ③ 実際の犯行の手口を知る。
- ンタルコントロールを積極的に活用するなど、家族で取り組むことが重要とされています。まずは、親子でしっかりとコミュニケーションをとり、子どもの実態を把握するとともに、トラブルや犯罪被害に遭わないためにも、次の①～③を心がけましょう。

困った時は専門機関に相談しましょう。

兵庫県での相談窓口

- 県警本部サイバー犯罪対策課 ☎078-341-7441 (代表)
- 県警少年相談室 (ヤングトーク) ☎0120-786-109
- ひょうごっ子悩み相談センター ☎0120-078-310 (24時間)

1日の平均使用時間

